

福島小だより

学校通信

めざす児童像：よく考え 心やさしい 元気な子
令和3年3月26日 第15号（令和2年度 最終号）



甘楽町立福島小学校
校長 中島 剛

○1年間の感謝を込めて ～大変お世話になりました～

校庭の桜の木々は可憐な花びらをつけ始め、美しい春を演出しています。暖かな陽気に春爛漫を感じる今日この頃、保護者の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

今年度を振り返ってみると、新型コロナウイルスへの対応に追われた1年だったといえます。4月7日に入学式・始業式を行ない、翌日の授業日を終えてから5月末まで臨時休校となりました。6月の学校再開からは「新しい生活様式」を取り入れながら、日々の授業をはじめ、運動発表会や各学年の旅行、持久走大会などの行事を行うことができました。しかしながら、密集を避ける対策の一環で、宿泊の行事を取りやめたり、授業参観やPTA廃品回収など、保護者の皆様や地域の皆様とともに行う活動が中止になったりしてしまいました。

そのような1年でしたが、子どもたちは新型コロナに屈することなく、また、事件や事故に巻き込まれることもなく、無事、令和2年度を終えることができました。これもひとえに、保護者の皆様や地域の皆様が、登下校時の見守り活動や教育活動へのご支援、ご協力をしてくださったお陰と心より感謝申し上げます。

来年度の1学期始業式は、4月7日(水)です。福島小学校の新たな1年がスタートします。体も心もさらに一回り大きく成長した全員の子どもたちと、再会できることを楽しみにしています。

○卒業式 ～希望を胸に巣立ちました～

29名の卒業生は、保護者の皆様や教職員、5年生に見守られながら、胸を張り堂々とした態度で立派に卒業していきました。みごとに有終の美を飾りました。

私からは、はなむけとして2つ、「感謝の気持ちを持ち続けること」と、「どんな状況でも柔軟に対応すること」についての話をしました。福島小学校で過ごした楽しかった思い出を胸に、中学校でもますます活躍して行ってほしいと思います。

そして、在校生の代表として参列した5年生は、式典中はもちろん、準備から見送りまで、卒業生への感謝の気持ちを込めて、しっかりと取り組んでいました。



○ブックトーク ～本の魅力が満載です～

6年生は担当する下級生の学年を決めて、体育館で学年ごとにブックトークを行いました。

グループごとに下級生が6年生の前に座って、順番に話を聞いて回りました。6年生は、乗り物や動物、友だちやコンピューターなど、テーマに沿って選んだ2～3冊の本をわかりやすく話しました。

下級生から質問を受けたり、下級生の気持ちを汲んで話を膨らませたりしながら、楽しい交流ができていました。



○役員引継ぎ式 ～力強い応援団が引き継がれます～

今年度と来年度のPTA本部役員の各5名の皆様に校長室へお越しいただき、引継ぎを行いました。

今年度の役員の皆様には、新型コロナの影響で、全く先が見えなかった学校運営について、相談に乗ってくださったり、支えてくださったりしたことに深く感謝いたします。また、来年度の役員の皆様には、今年度、残念ながら中止になってしまったPTA行事を少しずつ再開させるために、お力添えをお願いできればと思っています。

